

上手に繋ぎ しっかり守り 賢く使う

- 安全で活力ある社会のために -



第31回 日本道路会議

■日程：平成27年10月27日(火)～28日(水) ■会場：都市センターホテル 東京都千代田区平河町2-4-1

基調講演

筑波大学大学院教授
石田 東生氏



■参加費
個人/[学生] 3,000円
[一般] 10,000円、15,000円(当日受付)
団体/50,000円(1名参加)以上

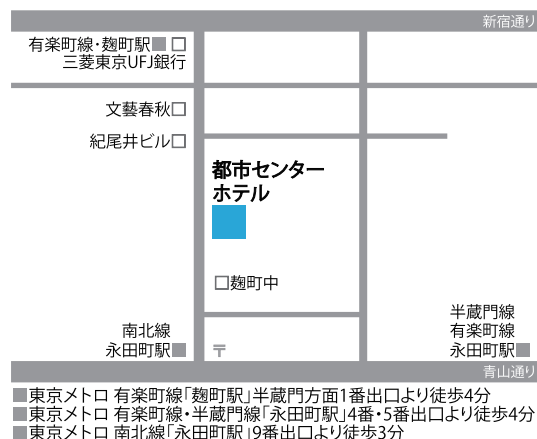
■問い合わせ先
〒100-8955
東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館7階
公益社団法人 日本道路協会
第31回 日本道路会議事務局

TEL 03-3581-2211
E-MAIL dourokaigi@road.or.jp

主催：公益社団法人 日本道路協会
後援：国土交通省



土木学会CPD及び全国土木施工管理技士会連合会CPDSの
対象プログラムとなっています。



詳しくは日本道路会議ホームページをご覧ください。

<http://www.road.or.jp/conference/>

日本道路会議は、 道路に関係するあらゆる方々にとって、 役に立つ情報と機会を提供する場です。

● 今後の道路政策のあり方についての展望

基調講演

筑波大学大学院教授
石田 東生 氏

10月27日 10:10～10:40

専門は、交通・国土・都市計画。
国土交通省社会資本整備審議会の臨時委員をはじめ、国や地方自治体の多くの委員会委員を務める。

パネルディスカッション

今後の道路政策のあり方について、多分野の関係者を交えて議論します。

10月27日 10:45～12:30

● 直面する課題に関する先進事例・最新情報の共有と意見交換

■「道の駅」の新たな展開	■人が集まる道路空間の創造	■道路施設の老朽化対策の推進	■生活道路の交通安全対策	■ビッグデータを活用して道路を賢く使う
10月27日 13:30～15:30	10月27日 16:00～18:00	10月28日 10:00～12:00	10月28日 13:00～15:00	10月28日 15:30～17:30
■基調講演 ○「道の駅」の新たな展開として、重点「道の駅」制度が創設されました。道の駅の第2ステージに関する最近の動向を中心に、情報を共有します。	■基調報告 ○道路行政が目指す柱の一つである「人が集まる道路空間の創造」について、各分野の有識者等により構成される「道デザイン研究会」の活動実績などを紹介します。	■基調講演 ○橋やトンネルの全点検が義務化されて2年目。道路施設の老朽化対策を推進するため、多数の施設を抱える市町村に対する支援などメンテナンスサイクルを着実に回していく取組について講演します。	■基調講演 ○生活道路の安全対策が緊急の課題である中、全国取り組み事例などを通じ、ハンブ、狭さく等の物理的デバイスの整備効果や合意形成手法など生活道路対策の方向性について講演します。	■基調講演 ○道路交通のこれからを大きく変える可能性を秘めた道路交通関連ビッグデータ。産官学での分析・活用事例などを通じ、多種多量のビッグデータの活用可能性や今後の展開について講演します。
■パネルディスカッション ○地方創生の拠点として選定された全国モデル「道の駅」等の先進的な取組を紹介し、今後の「道の駅」の新たな展開について、有識者、道の駅関係者、行政関係者を交えて議論します。	■パネルディスカッション ○「道デザイン研究会」有識者メンバー等を交えて、施策の推進に当たっての課題及び今後の推進方策等について議論します。	■パネルディスカッション ○「老朽化対策の着実な推進」について、学識経験者、行政関係者、地方公共団体関係者等を交えて議論します。	■パネルディスカッション ○生活道路における対策の必要性、計画策定の進め方、住民参加、合意形成のあり方などについて、学識経験者、行政関係者、自治体関係者、ジャーナリスト、道路利用者を交えて議論します。	■パネルディスカッション ○道路交通関連ビッグデータを活用した、道路を賢く使う施策展開や利活用事例、最新の知見について、学識経験者、行政関係者、民間企業関係者等を交えて議論します。

● 海外における先進的な道路政策、道路投資の動向などの最新情報

■【特別共催イベント※(入場無料)】走行課金に関する国際シンポジウム

※別途お申し込みが必要です(詳細はホームページに掲載します)

- 講演/パネルディスカッション 10月28日 10:00～12:30
- パネリスト:欧州、米国等の道路当局関係者、研究者、企業関係者

共催：(一財)ITS サービス高度化機構
後援 (一財)道路新産業開発機構

欧州を中心として検討・導入が進められつつあるITS技術を活用した対距離課金システムについて、海外の報告をもとに、意図されている制度の概要、道路政策・財源確保の観点からみた意義、実現に向けての課題について理解を深めます。

■インドネシアにおける道路インフラ投資の方向性

- 講演/パネルディスカッション 10月28日 13:30～15:00
- パネリスト:インドネシア公共事業省幹部、国内有識者2～3名

昨年10月に発足したインドネシア・ジョコウィ政権のもとでは、大規模の新たなインフラ投資企画が策定されています。我が国企業の関心も高いインドネシアにおける今後の道路投資の動向について情報が得られます。

■海外プロジェクトへの参画とその魅力

- 講演/パネルディスカッション 10月28日 15:30～17:30
- パネリスト:プロジェクトに携わった技術者4～5名
- コーディネーター:国土交通省

道路関係企業の海外市場への進出拡大に向け、国内とは異なる環境における苦労や海外プロジェクトならではの魅力を紹介します。メコン地域の経済発展に大きなインパクトを有する重要プロジェクトとして注目が高いカンボジアの「つばさ橋」をとりあげます。

● 一般論文発表

■口頭発表

10月27日 13:00～18:00
10月28日 9:30～17:30

■ポスターセッション

10月27日 13:00～16:30
10月28日 13:00～16:30

発表論文数 約500編!

- 道路の計画・設計から施工、維持管理にわたる幅広い分野の最新の研究成果や現場での優れた取組が報告されます。
- 各会場では報告内容を題材に活発な意見交換や討議が行われます。

● 展示・広告ブース

■『道の駅』、『ITS関連』のパネル及びブースによる展示を行います。また、各企業の展示ブースも設置します。

「道の駅に関する出展」

「ITS技術等の最先端技術」

10月27日 13:00～18:00
10月28日 10:00～17:00